

北海道NPO情報



NPO推進北海道会議
北海道NPOサポートセンター
北海道NPOバンク/NPOバンク事業組合
北海道NPO越智基金

発行 北海道情報宣伝研究会
札幌市中央区北4条西12丁目
1976年7月9日第3種郵便物認可
定価 100円

【2006年6月号】

市民活動を支える制度を強化しよう！

もくじ

ページ

NPO会計講座	2
ボランティア養成講座/インド滞在記	3
コミュサポ/札幌広域圏事業奨励金	4
NPO越智基金助成金公募(予告)	5
スタッフ落書きコラム/NPO法人数	6
NPOサポート事業紹介/札幌はこび愛	7
NPOな...インフォメーション(書籍紹介など)	8~9
情報BOX	10~11
助成金情報	11~12



福祉NPO研修会のお知らせ 2006年6月9日開催 講師:田中尚輝市民福祉団体全国協議会専務理事

日時: 6月9日(金) 第1部 午後3時~ 第2部 午後6時半~
会場: 札幌市中央区民センター2階「つどいAB」(定員84名) 札幌市中央区南2条西10丁目

第1部 午後3時~午後5時30分

テーマ 「介護保険・介護予防」「支援費制度」「障害者自立支援法」など4月の大幅な制度変更から2ヵ月経過の時点での問題点・課題の整理。

田中尚輝氏講演 1時間(15:00~16:00)

課題解決相談、質疑応答など。1時間30分予定

参加費 一人 1000円

第2部 午後6時30分~午後8時30分

テーマ:「福祉有償運送」の課題解決に向けて。各地で運営協議会が開催され、国会では「道路運送法」の改正案が審議中。10月には新しい枠組みがスタート予定。セダン型車の運行問題や、介護保険・支援費制度との関連など、さまざまな課題を検証する。

田中尚輝さんのお話と、清野光彦・北海道介護NPO連絡会代表(新得)、平賀貴幸・さわやか北海道代表などのパネルディスカッションを予定。

参加費 一人 700円

主催:北海道介護NPO連絡会,北海道NPOサポートセンター,さわやか北海道
さっぽろ介護NPO支援ネット

協力:さわやかオホーツクネット

問合せ・申込み/TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp 担当/北村、小林

6月のNPO会計講座 ご案内 6月13日スタート

《決算書作成アドバイス付き》～短期集中5回講座 18:00 開講
毎回ご好評いただいている会計講座のご案内です。

3月決算の事業所は決算書作成は順調にすすんでいますか？簿記の基礎を学び、NPOならではの勘定科目を使った仕訳（振替伝票記入）等の練習問題をやってみます。講習時に使用する会計ソフトは「会計王7 NPO Limited」です。ソフトの扱い方を中心にパソコン入力もたくさん練習します。最終的には決算書を作成し、財務諸表の見方などを学びます。

今回は講習中に、個別質問に対応する時間を用意して、それぞれの団体の事情に合わせたアドバイスができるようカリキュラムを組んでいます。ご参加ください。

日時 / 第1回 6月13日（火） 第2回 14日（水） 第3回 16日（金）
第4回 20日（火） 第5回 21日（水）

いずれも 18:00～20:00 各回2時間（合計10時間コース）

場 所 / 北海道NPOサポートセンター会議室

（札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2階）

講 師 / 小沼 千佳子（北海道NPOサポートセンター会計担当）

定 員 / 8名（最少催行人員3名）

受講料 / 10,500円（税込み、初回納入）

締切り / 6月9日（金）先着順。（定員になり次第締め切ります）

参加対象者 / パソコンの文字入力、マウス操作がスムーズにできる方

問合せ・申込み / TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp 担当 小沼（おぬま）、神（じん）

主 催 / NPO法人 北海道 NPO サポートセンター

広告 **会計王7 NPO Limited** はNPO運営で欠かせない記帳指導や消費税申告などの経理業務を「軽減したい!」「NPO法人の実情に合った会計ソフトが欲しい!」そんなお客様の声から誕生しました。

- NPO法人のための会計ソフト - 会計王の特徴

NPO法人の会計処理に必要な基本勘定科目があらかじめ設定されているだけでなく、NPO法人専用の仕訳が取引摘要辞書として最初から登録されているので摘要を選ぶだけの簡単操作で仕訳入力する事ができます。

非営利事業とその他事業それぞれを部門として管理する事により会計処理を1つの会計データで管理する事が出来ます。

所轄庁に対し報告する「貸借対照表」「財産目録」「収支計算書」が直接作成されます。また、その他事業では「損益計算書」「製造原価報告書」も作成できます。

NPO法人会計に精通した税理士、公認会計士監修のNPO法人専用会計ソフトです。

【監修】瀧谷和隆税理士(NPO法人エーピーアイ・ジャパン代表)

加藤俊也公認会計士、脇坂誠也税理士

NPO法人のための会計ソフト会計王7NPO Limited体験版はソリマチホームページよりダウンロードできます。 <http://www.sorimachi.co.jp/>

お問い合わせ：ソリマチ株式会社 ☎062-0903 北海道札幌市豊平区豊平3条8丁目1-26 担当：西村

TEL 011-812-3640 FAX 011-812-3641

会計王7
NPO Limited
NPO法人のための会計ソフト
標準価格 ¥31,500 (税込)

ボランティア養成講座～おやし塾～

おもに団塊の世代の方対象
キャリアを活かして社会貢献

日時：2006年7月13日(木)、7月20日(木)、7月27日(木)
18時30分～20時30分

会場：北海道NPOサポートセンター会議室 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F
交通アクセス：東西線西11丁目駅下車徒歩5分、市電「中央区役所前」下車徒歩3分

講師：北海道NPOサポートセンター理事、スタッフ

定員：8名（最小催行人数3名）

受講料：6,300円（テキスト代込み）

(カリキュラム)

第1日 NPO・ボランティアとは？ NPOとボランティアの基礎講座

第2日 N・POWER ツアー 市内のNPOを訪問します

第3日 キャリアを活かすボランティア 会社で培ったキャリアを地域でいかに活かすか

申し込み：住所、氏名、連絡先をご記入の上、以下まで。

FAX 011-261-6524

Eアドレス npo@mb.infosnow.ne.jp

締め切り：7月10日(月)

問い合わせ：TEL 011-204-6523

インド滞在記 その1

山上千尋

なますてー。みなさまこんにちは。3月16日から3週間の日程でインドへ行きました。私自身インドへ行くのは2度目です。「なぜ、インドへいくのか？」と、よく聞かれる質問ではありますが、「(インドに)呼ばれているから」と答えるしかありません。しかし、今回はいくつか目的を持って行きました。1つは、「飛んでけ！車いす」の会がコーディネートしている、旅行者による車いすの輸送(?)に協力すること。2つ目は、チャルカを買うこと。3つ目は、マザーテレサハウスでボランティアをすること。4つ目は、ガンジス川の汚染状況を確認すること。最後に、初めてインドへ行ったときにお世話になった「悪徳？」旅行会社と修行させてもらった小さなレストランに行ってみることでした。

まず、「飛んでけ！車いす」の会の車いすについてですがインドでの受け入れ先がとうとう決まらず、日本に居る時点で輸送を断念しました。「車いすを持っていくなら」と、早朝、千歳空港まで送って下さった、某NPO事務局長さんには大変恐縮でした。(それでも送って頂いてしまいました。ありがとうございます。)こんなこともインドではよくあることです。気を取り直して、飛行機はムンバイに無事到着。

次の日はガンジーさんの生まれた州であるグジャラート州にあるアメダバードへチャルカを買いに行きました。チャルカはガンジーさんが独立運動をしたときに、インドの国民が全員チャルカを回して糸を紡いで布をつくる、スワデシという国産品愛用運動をやったので、その際に普及したものでした。ガンジーさんと言えば、非暴力不服従。しかしなぜ今チャルカか?! といえば、私の理解では、人間や自然を搾取する構図を作らないための一つのチャレンジだと思うからです。真実はカタツムリの速度で進む....

もうひとつ、アメダバードで忘れてはならないNGOがあります。SEWA (Self Employed Women's Association) という女性の自立支援をしている団体です。ここはSEWA bank というインドの女性が小さな事業を興すために資金を融資するという事業も行っていました。まるでNPOバンクです。私が訪問したときもたくさんの女性が集まって、SEWAのスタッフと相談したり、女性達同士でミーティングのようなこともしていました。とても活気があるなぁという印象でした。最近では自然エネルギー(太陽光発電パネルなど)への投資もしているとのことでした。飛び込みの訪問だったにもかかわらず、概要説明とパンフレットを頂くことが出来ました。(つづく)



アメダバードのガンジーアシュラムにて糸紡ぎの練習



今年もやります！3年目のコミュサポ事業

札幌広域圏（石狩支庁管内）8市町村で地域サポーター団体とホームページ作成希望の140団体が参加して、コミュサポ事業を2年間展開してきました。今年度も地域のまちづくりを目標に、無料のホームページ作成ソフト「WEB Maker」をツールとして札幌広域圏組合の「コミュサポ」サーバーに市民活動団体のホームページをアップする事業です。

札幌広域圏管内（札幌、石狩、当別、新篠津、江別、北広島、恵庭、千歳の8市町村に所在する市民活動団体対象）の市民活動団体のみなさまへ。

地域で活動するボランティア、市民活動グループ、NPOなどの皆さん、自分たちの活動をホームページで紹介してみませんか？「でも、詳しい知識がないからなあ…」そんな心配はいりません。札幌広域圏組合の「コミュサポ」が、皆さんのホームページ運営を応援します。

コミュサポに参加し、団体のホームページづくりませんか！ **サーバー利用料：無料**

「コミュサポ」参加団体を募っています。現在140団体がコミュサポサイトを活用しています。管内のより多くの市民活動団体が参加することによって、団体同士の横の連携も模索しています。是非ご参加ください。

▶ **募集・利用料** 募集团体数:100団体 **無料**

▶ **参加申込** 「参加団体登録申請書」を参加団体の住所がある各市町村の担当窓口へ、直接持参、FAXのいずれかの方法で提出してください。

「参加団体登録申請書」は各市町村の担当窓口で配布しています。また、北海道NPOサポートセンターホームページからダウンロードすることもできます。各市町村の提出窓口は、札幌広域圏組合事務局までお問い合わせください。

受付期間：2006年5月10日より--100団体になるまで！！

札幌広域圏組合 〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目明治安田生命札幌北一条西ビル3階

TEL：011-290-1313 FAX：011-290-1311

札幌広域圏組合「まちづくり活動支援奨励金」のお知らせ

所在市町村の異なる2つ以上の団体が市町村を越えて実施する事業に最大20万円を助成します。締め切りは6月16日となっております。

この助成事業は札幌広域圏内で活動しているまちづくり団体や市民団体同士で、市町村・地域を越えたまちづくりの事業を行うというものです。

例えば「札幌市」で活動中の市民団体と「石狩市」で活動中の市民団体で共同でイベント事業を行う事。

つまり共同提案する団体の活動区域が札幌広域圏内の異なる市町村でなければなりません。

札幌広域圏の範囲は（札幌市・江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・石狩市・当別町・新篠津村）です。

その他、各団体の構成員が、それぞれ5人以上であること。各団体は、政治、宗教及び営利活動を目的としない団体であること。ほか、札幌広域圏組合が実施しているコミュサポ事業に登録頂く事になります。

対象事業には次に掲げる内容等に該当する活動で、年度内に終了する事業であることです。

札幌広域圏域の地域連携、市民と行政の協働、まちづくりに関する調査・研究、情報の発信事業。ボランティア、子育て支援対策、環境問題等の地域課題の解決を目的とする事業地域、産業振興などのまちづくりの活性化を目的とする事業、札幌広域圏域の地域文化の継承や振興に寄与する事業

ただし、(1)他の助成制度により補助を受けている事業、(2)札幌広域圏外で行う事業、(3)親睦を主たる目的とする事業(4)昨年「まちづくり活動支援奨励金」の助成を受け、今年度も同様の内容で取り組む事業。などを除きます。

詳細概要はつぎのURLを参照または下記に問い合わせしてください。

<http://www.kouiki.chuo.sapporo.jp/machi/shiori.html>

申込み方法

提出方法：持参、郵送のいずれか

受付期間：2006年5月15日(月)～6月16日(金)まで

受付窓口：札幌広域圏組合

〒060-0001

札幌市中央区北1条西1丁目 明治安田生命北1条西ビル3階

担当：長谷川 敦 振興課長

TEL 011-290-1313 FAX 011-290-1311

E-mail pkouiki@kouiki.chuo.sapporo.jp

ホームページ <http://www.kouiki.chuo.sapporo.jp/machi/shiori.html>

<お問い合わせ先>

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

畑 憲一

札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F

TEL:011-204-6523

FAX:011-261-6524

<http://www.infosnow.ne.jp/~npo/mainindex.htm>

hata@npo-hokkaido.org

「北海道NPO越智基金」助成応募のお知らせ

NPO支援越智基金は、越智さんが亡くなる際の遺言で、これからの社会を生き生きとしたものにするために必要不可欠な自発的な市民活動の支援を目的に残して下さったものです。毎年200万円を20から30ほどの団体、グループに助成してきました。

今年は、教育者であった越智さんの遺志に沿う形で、「青少年自立支援」活動を行っているグループ向けに特別枠を設けることにします。一般の助成ももちろん行います。それから、「白いリボン」運動が定着してきたのを機会に、寄付も歓迎したいと思います。「金は天下の廻りもの」ということわざを新しい形にして行くではありませんか。
(北海道NPO越智基金 代表理事 田口 晃)

「NPO越智基金」の趣旨

元北教組書記長・副委員長で、札幌地区労働組合協議会議長を長年務められ、1997年に他界された越智喜代秋さんが、遺言で遺産の一部をNPO活動に寄贈する旨意思表示されました。NPO推進北海道会議は、越智喜代秋さんの意志を受け継ぎ、『NPO越智基金』を設立、2002年12月「北海道NPO越智基金」としてNPO法人格を取得しました。1999年は30団体に総額226万円、2000年は38団体に273万円、2001年は34団体に総額202万円、2002年は38団体に総額187万5千円、2003年は32団体に160万円、2004年は28団体に200万円、2005年は35団体に195万円の助成を実施しました。

今年度は、関西発の民間募金運動の呼びかけを受け発足した、白いリボン運動北海道実行委員会より寄付を受けています。

今年度の助成方針

1. NPO活動助成金(一般公募)応募要項

2006年「NPO越智基金」はNPO活動がより活発になるための一助になるよう、NPO活動助成を行うこととします。今年度は例年通りの「一般公募助成」原資を100万円とします。

当基金は、非営利活動団体(NPO)に対して援助を行い、その活動の発展に寄与することを目的としています。道内で活動しているNPO(NPO法人・任意団体)を対象とします。

2. NPO活動助成金(指定公募)応募要項

今年度助成金配分予定金の半額100万円を原資にして、道のNPO法人認証団体で、青少年自立支援活動を行っている団体を対象にした「指定公募助成」を実施します。

一般公募助成との重複申請は、ご遠慮ください。

応募期間 応募〆切 8月10日(木)午後6時必着

決定通知 8月下旬

助成金支払い 9月中旬

詳細は7月号でお知らせします。

問い合わせ先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階 北海道NPOサポートセンター内

NPO法人北海道NPO越智基金 電話011-204-6523 FAX011-261-6524

Email npo@mb.infosnow.ne.jp (担当:北村、東川)

NPOバンク融資申込みのお知らせ

第16回融資 申込期間 8月2日(水)から8月17日(木) / 融資実行9月下旬

融資申込みに際して必要な書類は下記URLから取り出せます。

NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F

北海道NPOサポートセンター内 TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524

npobank@npo-hokkaido.org http://npo-hokkaido.org/bank_hp/index.htm

**サポセンスタッフの
落書きコラム
2006年度 その2**

「別府合宿：連夜の宴付き」の続きです。今回も写真付きですヨ。

この合宿では、歩く 勉強会 飲むし食うしの繰り返しだったのですが、初日のまち歩きの後では、別府限定で活躍する地元スターが登場しました。



岸川さん(中央)とぶんちゃん(右)

アコーディオン“流し”のコンビ、「ぶんちゃんはっちゃん」のぶんちゃんと、ガイドの岸川さんです。ぶんちゃんはっちゃんは、他のまちからお声がかかっても別府以外では絶対演奏をしないそうです。そんなこだわりが、別府に人を引き付けるのかもかもしれませんね。岸川さんは七五調の名調子で竹瓦温泉を紹介してくれます。

2日目の夜は、^{かななわ}名物“地獄蒸し”料理に舌鼓。“地獄蒸し”とは、山の幸・海の幸を噴き上げる湯煙で蒸すという豪快なもの。お土産に噴火湾のホタテや北海しまえびを持っていけば良かったなあと思いました。

まあ、それにしてもみなさんよく飲んで食べますわ。(ちなみに私は下戸です)

食べることに引けをとらない私ですが、場違いでしたね・・・。

そして、2泊3日の研修の締めは、旅館の大広間で朝から研修会。写真の中央にあるのは、全国各地(旭川～那覇)の謙讓品と化した！？手土産の盛り合わせです。



名物“地獄蒸し”を食しながらの宴

実は、この研修会がメインだったようなのですが、2年続けて行ってきた協働の調査は、06年は一時休止し、全国の協働事例集を作るとか。その説明が待ち受けていたんですね。



最終日の朝の研修風景・・・

それにしても、「来年は沖縄で」という声も出ていましたが、次回は酒の強い さんとか、 さんに行ってもらうことにし～ようっと、と心の中でつぶやき、本当に循環している地域通貨「湯路」(発行：い～湯)を手にも、別府を後にしたのでした。

P.S まあ、それにしてもダジャレが多いこと。初日に食したデザートは、「きなこジジイ」がのかった「砂かけババロア」でした。誠に美味でしたが・・・。(松本公洋)

特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等

内閣府ホームページから <http://www.npo-homepage.go.jp/>

全国の申請受理数「内閣府・北海道含む」 2月28日現在 (内閣府のホームページ)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	27871	26394	224	659
道内の申請受理数 3月31日現在(北海道)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	1086	1034	0	26

北海道内のNPO認証状況は道庁HP <http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npo.index.htm>

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位：円，税込)

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。

詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話 011 - 204 - 6523

2006.6.1 改定

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月～6ヶ月)	相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料)	基本料金	21,000～
NPO法人代表印	登記に必要な法人代表者印鑑です(送料別)	1本	11,000
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します。	1枚	210
簡易印刷機(リソグラフ) 使用料金 黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は 良心的な印刷所を紹介)	予約制が必要です。詳細は伍相談下さい。 基本料金は製版1枚、紙代込みの場合です。 (厚紙や色紙は少し高くなります) A3まで印刷可、10枚以上～ (両面は片面の倍)	片面 B5 1,000枚	2,738
		片面 A4 1,000枚	2,738
		片面 B4 1,000枚	3,438
		片面 A3 1,000	4,838
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します。(100枚単位) 片面初版代：315円、 両面初版代：525円が別途かかります。	片面 カラー	1,470
		片面 白黒	1,050
		両面 カラー	2,310
		両面 白黒	1,890
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅42cm)に印刷します。	片面のみ	1,575～/m
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	210
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	63～
組織運営相談 会計相談・経営相談	個別にご相談をお受けします。		

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険関係について、NPOサポート専門家会議メンバー等による相談を随時受け付けております。(NPOサポセンスタッフが聞きし専門家にお伝えします)

法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じて専門家のアドバイスをいただいています。弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産鑑定士、不動産専門家、建築士、社会福祉士、ファイナンシャルプランナーなどの専門家の協力を得ています。

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階
電話番号011-204-6523, FAX番号 011-261-6524
通常業務時間10:00～18:00(土、日、祝日は休み時があります)

さっぽろ介護NPO支援ネット / 北海道NPOサポートセンター分室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階
電話番号 011-242-4333, FAX番号 011-281-8807
通常業務時間 9:00～17:00(月～土)(水、日、祝日休み) **水曜はお休みです**

引越し・旅行・車検のことなら**「札幌」はこび愛ネット**をご利用ください!ご存知かもしれませんが、飛んでけ!車いすの会をはじめ札幌チャレンジなど10団体ほどが参加しているもので、札幌さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して!」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。**どうやって利用するの?**申し込みはとても簡単。下記の**「はこび愛ネット」**推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行(札幌トラベル)、車検・自動車修理(札幌自工)と文房具(札幌商事)などの購入です(一部対象外あり)。ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは 札幌**「はこび愛ネット」**推進事務局

TEL(011)251-4111内線250番 FAX(011)231-7063


書籍案内 団塊シニアだから成功する！
NPOビジネス

～楽しく、働きながら、社会を変える～
田中尚輝著(NPO法人市民福祉団体全国協議会専務理事)
学陽書房 1680円(税込み)
2006年4月発行 189ページ

NPOに関わりたいあなたへ！団塊シニアがNPOに関わることで、新しい社会が切り開かれていく！そのビジョンを浮き彫りにし、具体的なNPOビジネスの立ち上げ方、ビジネスチャンスの見つけ方、必要なネットワークのつくり方がよくわかる一冊！

目次 第1章 楽しく生き、働き、社会を変える(楽しく生き、働き、社会を変える人生をはじめよう 元気シニアが楽しみながら社会を変えるモデルになる！)
第2章 やってみようNPOビジネス(自分もかかわって楽しく社会を変えてみよう！NPOビジネスがめざすものまずネットワークになる！)
第3章 夢を実現するシニアのネットワーク(発展するシニア組織シニア団体の壮大なネットワークへの道日本版AARPへの道 ほか)

【問合せ】北海道NPOサポートセンター
TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524



報告集案内 2005年第2回全国NPOバンク
フォーラム報告書


この報告書は「お金に意思を持たせよう」というテーマで2日間にわたって行われた「第2回全国NPOバンクフォーラム」の報告書です。

<目次> 開会挨拶「NPOバンクとは？」 報告1:市民の資金ニーズ-借り手の視点から- 報告2:エコ貯金キャンペーン-3億円が動いた- パネルディスカッション「金融を手探りする」

分科会プログラム **分科会1** こんな金融教育が必要
分科会2 NPOバンクのつくり方講座-私たちとつくりませんか?- Shall we bank? -
分科会3 How to manage-市民が作り・支える・NPOバンク-
分科会4 今、地域に必要な「お金」のしくみ **分科会5** NPOバンク融資申込みワークショップ

発行日: 2006年4月
頒価 1000円(税込み)
発行: 第2回全国NPOバンクフォーラム実行委員会

【問合せ】
北海道NPOサポートセンター
TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524



 **NPOな...**

介護NPOの皆様へ

福祉有償運送車両マグネットシートができました。
(福祉有償運送を行うには、使用する車両の両側面に「団体名」及び「有償運送車両」と表示しなければなりません)

- ・福祉有償運送車両
- ・事業所名入り福祉有償運送車両

1枚1,200円～3,960円 6種用意しました。発注から納品まで1週間ほどかかります。(通常より安価)
詳しくは、さっぽろ介護NPO支援ネットまで。

NPO法人さっぽろ介護NPO支援ネット
介護に関わる情報提供、事業所支援、利用者への相談対応、研修・調査事業等を実施しています。

【業務日及び業務時間変更のお知らせ】
2006年5月1日より下記のように変更致します。
【業務日】月曜日～土曜日(祝日、日曜、水曜お休み)
【業務時間】9時～17時

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8F
TEL 011-242 4333 FAX 011-281-8807
E-mail sapporo-kaigo@npo-hokkaido.org

資料案内 『ぜ～んぶまるごと NPO』
- すいすい読めてよくわかる -


発行 NPO法人北海道NPOサポートセンター
A4判(56ページ) 定価 400円(税込み)
* 申請書類一式を納めたFDまたはCD 525円(税込み)
これからNPO法人格取得を考えている団体におすすめ。

(目次)
市民活動とは
法人格取得の申請手続き
NPOと法制度の現状
会計、事業報告、税務について

資料編として、

- ・特定非営利活動促進法(平成15年5月1日施行版)
- ・特定非営利活動促進法施行規則(同)
- ・特定非営利活動促進法施行条例
- ・申請に必要な書類(ひな型)を掲載しています。

【問合せ】
北海道NPOサポートセンター
TEL: 011-204-6523
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



書籍案内

『NPOの参考書』

NPO法人向け諸届け出ガイドブック
事務所に1冊必携のマニュアルです。

- ・ 設立登記（法務局）
- ・ 登記完了届（道庁）
- ・ 変更登記（法務局）
- ・ 事業報告書等の提出（道庁）
- ・ 任期满に伴う役員の変更（法務局と道庁）
- ・ 任期途中の役員の変更（法務局と道庁）
- ・ 事務所移転（法務局と道庁）
- ・ 定款の変更（法務局と道庁）

諸届ひな型のCD付き

定価 2,100円（税込）

2005年5月28日発行

【問合せ】

北海道NPOサポートセンター
TEL 011-204-6523
FAX 011-261-6524
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



ブックレット案内

岩波ブックレット No.675

「戦争って、環境問題と関係ないと思っていた」

著者 / 田中優 A5版 / 71ページ

504円（税込み）

<著者自身の紹介文>

平和をあきらめて、環境問題の解決だけ進めたらどうなるか それを真剣に調べてみました。やっぱり人類は生き残れません。ではどうしたら戦争を止められるのか、戦争の原因はどこにあるのか それを調べた結果は、エネルギーの問題と金儲けの仕組みにありました。どちらも私たちの生活と密着した問題です。ところが戦争の現実、エネルギーや金儲けのフィルターを通して見ると現実感がなくなります。このままでは戦争の悲惨さを実感したり、その悲劇に共感したりすることもできません。では、どうしたら戦争の悲惨な現実にも共感できるのか、戦争をさせないために、どう社会を組み換えていったらいいのか。それを一緒に考えてほしいと思います。そのきっかけになる一冊のつもりで書きました。ぜひ手にとって見てほしいと思います。あきらめずに平和を求めることは、環境問題の解決にもつながるのです。

【問合せ】

北海道NPOサポートセンター
TEL011-204-6523 FAX011-261-6524
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



NPOな...

書籍紹介

現代地方自治の焦点

横山純一 著（北海道大学法学部教授）
同文館出版 2900円＋税 200ページ
2006年2発行 ISBN-4-495-86591-9

目次

- 第1章 税源配分の三位一体改革と中央 地方
- 第2章 道州制と北海道開発予算の現状・課題
- 第3章 市町村合併問題と
北海道の新しい自治のかたちの模索
- 第4章 過疎地域の医療の将来と広域連合制度
- 第5章 介護保険制度の大幅見直しと介護財源問題
- 第6章 近隣政府と住民自治
- 第7章 新しい児童福祉施策としての三鷹市
「子ども家庭支援センターすくすくひろば」
- 第8章 NPOは若者の雇用の場になりうるのか
～若者の雇用の場としてNPOに期待する風潮もみられる。NPO活動の出てきた背景と役割、NPOが若者の雇用の受け皿になり得るのかについて考えるためのいくつかのNPOに関する論点、高齢者介護NPOの実態について検討を行う。

【書店でお求めください】



北海道を元気にする、ボランティア検索サイト

ボランティアしてみようかな・・・と思ったら
まずはボラナビ.netへ！

イベント情報も盛りだくさん。
掲載のご依頼はサイトから。

<http://www.npohokkaido.jp/volunavi.net/>

NPO法人ボラナビ倶楽部 Tel/011-242-2042 Fax/011-242-2043
E-mail volunavi@npohokkaido.jp

2006年度会費納入のお願い 【NPO推進北海道会議】【北海道NPOサポートセンター】

このニュースは会員のみなさまからの会費で作成し配送しています。4月から新年度になりましたので2006年度の会費の納入をお願いいたします。NPO推進北海道会議/北海道NPOサポートセンターは、北海道内でのNPO活動の促進のため、役割分担して活動しております。主旨をご理解いただき、引き続き会員としてご参加いただくようお願いいたします。

【NPO推進北海道会議】 1995年設立。NPOを広めるための広報活動、フォーラムやシンポジウムなどの開催、NPO市民講座の開催、行政との連携、政策提言活動、情報の提供活動を行っています。

会費 個人一口2,000円 団体 一口5,000円

郵便局口座番号：02760-8-9885 口座名義「NPO推進北海道会議」

【北海道NPOサポートセンター】 NPO推進会議の活動をさらに広げるかたちで、1998年3月に設立。推進会議の活動が主にNPOを広めるのに対し、サポートセンターでは市民活動団体からの相談や、法人格取得に関する具体的なアドバイス、NPO法人相互の連携、NPO法人の実務サポート等を行っています。

会費 個人一口3,000円 団体一口10,000円

郵便局口座番号：02700-1-62184 口座名義「北海道NPOサポートセンター」

推進会議、サポートセンター両方の会員になって頂いても結構です。(大歓迎です。)

情報BOX

北海道福祉のまちづくりコンクール募集要領

- 趣旨 北海道では北海道福祉のまちづくり条例を制定し、障がいのある人もない人も、お年寄りも子どもも、だれもが住みよい地域社会づくりを道民全体で進めていくことを目指しています。このような取組みを一層進めるために、福祉の配慮に優れた公共的施設等及び障がい者・高齢者等を支援する活動を表彰します。
- 主催 北海道
- 後援 札幌市、北海道福祉のまちづくり推進連絡協議会
- 対象
ハード部門(公共的施設等) 北海道福祉のまちづくり条例に規定する公共的施設等で、北海道内に所在し、2004年4月1日～2006年7月7日までに完成したものとします(道立施設は対象外)。
ソフト部門(障がい者・高齢者等の自立・社会参加支援活動) 北海道福祉のまちづくり条例の趣旨に基づき、障がい者・高齢者等の自立と社会参加を支援するための活動で、北海道内で取り組まれているものとします。
- 北海道福祉のまちづくり賞
ハード部門 最優秀賞1件 優秀賞3件 奨励賞若干
それぞれ所有者又は管理者、設計者を表彰します。
ソフト部門 最優秀賞1件 優秀賞3件 奨励賞若干
それぞれ個人又は団体を表彰します。
- 応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記載し、必要な写真、図面などを添付の上、郵送又は持参してください。自薦、他薦は問いません。
- 募集期間 2006年6月1日(木)～7月7日(金)
当日消印有効
- 審査方法 審査委員が応募用紙・添付資料に基づいて審査。必要に応じて現地審査を行い決定。
- 表彰時期 2006年10月(予定)
- 問合せ北海道福祉援護課福祉基盤グループ
TEL 011-231-4111(内線25-617)
FAX 011-232-4070
E-mail mori.yoshikatsu@pref.hokkaido.lg.jp
札幌市内の施設・団体については、札幌市高齢福祉課の窓口でも応募を受け付けています。
TEL 011-211-2976 FAX 011-218 5179

ごみゼロナビゲーションボランティア大募集！！
環境NGO ezorockごみゼロナビゲーションin

RISING SUN ROCK FESTIVAL 2006 in EZO

オールナイトで行われるこの野外音楽フェスティバルで、環境NGO ezorockでは、ごみゼロナビゲーション活動を行うボランティアを募集しています！

音楽を楽しみながら、一緒にフェスティバルをつくりませんか？！

「RISING SUN ROCK FESTIVAL 2006 in EZO」

<http://rsr.wess.co.jp/2006/>

*ボランティア活動概要-----

活動日時: 8月18日(金) 19(土) 20日(日)

会場: 石狩湾新港樽川ふ頭横野外特設ステージ

定員: 180名

活動内容: ごみの分別ナビゲート、資源回収とリサイクル、ごみ袋の配布など

*申し込み方法-----

以下の「環境NGO ezorock」ウェブサイトへアクセスして、申し込んでください。

URL <http://www.ezorock.org/>

環境NGO ezorockとは-----

2000年の「RISING SUN ROCK FESTIVAL 2000 in EZO」のボランティア活動をきっかけに2001年4月に設立し、「野外で気持ちよく音楽を聴ける環境を残す社会」を実現するために北海道を中心に活動しています。

<http://www.ezorock.org/>

ごみゼロナビゲーションとは?-----

A S E E D J A P A N ごみゼロナビゲーション
<http://www.gomizero.org/>

-----お問い合わせ-----

環境NGO ezorock 担当: 草野、宮本

〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5

旧豊水小学校3階 市民活動スペース アウ・クル内

TEL (携帯) 090-2870-1705

(事務所) 011-562-0081

E-mail info@ezorock.org

RISING SUN ROCK FESTIVAL 2006 in EZO での
NGO / NPO village 開催決定！

～RISING SUN ROCK FESTIVAL で活動アピール

しませんか？～

今年も、ライジングサンロックフェスティバル会場内にはNGOやNPOなどがオルタナティブな価値観を発信してゆく場が登場します。約7万人が集うロックフェスティバルの会場内であなたの団体の活動をアピールしません

か？北海道の空の下で、来場者の心に残る参加型の活動紹介をしたい！という団体を募集しています。皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。(締め切り：6月中旬)

応募要件など詳細はお問い合わせください！募集要項をお送りします。

《申し込み・お問い合わせ》山上 千尋

E-mail : Chihiro.Yamagami@ma5.seikyoku.ne.jp

TEL 070-5607-8838 FAX 011-872-6364

RISING SUN ROCK FESTIVAL は(株)ウエスの登録商標です。

《STネット北海道主催

移送サービス運転協力者講習会のご案内

開催日 6月24日(土)・25日(日)9:30~16:30

場所 第1日目：札幌千代田ビル11F(JR札幌駅北口から徒歩5分)札幌市北区北7条西5丁目5-3

第2日目：北海道立心身障害者総合相談所/札幌市中央区円山西町2条1丁目1(地下鉄東西線円山公園駅からJRバス[西15]「動物園線」円山西町2丁目下車)

定員 80人

参加費 STネット会員 8,000円

非会員 13,000円

問合せ STネット TEL 011 219-5687(佐々木さん)

富良野演劇工場 富良野塾公演 2006

「地球、光りなさい！」

作・演出/倉本聰が贈る地球へのラブレター!

宇宙で一番きれいな水は、

あなたの心から沸き出ているー

6月1日~14日、17日~20日、22日~27日、29日、30日

いずれも19:30開演 入場料 3,000円(税込み)

問合せ：富良野演劇工場 電話 0167-39-0333

助成金情報

インターネット環境にないNPOのみなさまへ~

「助成金を申請したいが、情報を上手く収集できない」という声を良く聞きます。

最近の助成金は、募集要項や応募用紙をインターネットから取得(ダウンロード)する方式が増えています。また、さまざまな助成金情報をインターネットから取得することができます。

下記の助成金情報については、各助成元からの募集要項及びインターネットからの取得情報(抜粋)です。

平成18年度自然体験活動支援事業

「第5回 トム・ソーヤースクール企画コンテスト」

-----応募締切が2006年6月16日(金)必着「トムソーヤースクール企画コンテスト」は、学校団体部門と一般団体部門にわけ、小・中学生が10名以上参加する創造性に富んだ自然体験活動の企画を募集し、50団体の企画を入選作として選考し、実施支援金として10万円を贈呈いたします。また、入選団体の中から提出された実施報告書を審査し、以下の表彰を行います。

(1)学校団体部門 文部科学大臣奨励賞1校 100万円

優秀賞 1校 50万円

(2)一般団体部門 安藤百福賞 1団体 100万円

優秀賞 1団体 50万円

この助成金の問い合わせは下記まで

財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団

事務局 谷口真一さん

TEL 072-752-4335 FAX 072-752-1288

E-mail zaidan@shizen-taiken.com

〒563-0041 大阪府池田市満寿美町 8-25

TOTO水環境基金助成の主旨と内容

このプログラムは、水と暮らしの関係を見直し、再生することをめざした創造的な取り組みに助成します。

地域の水と暮らしの新しい文化の実現に向けた実践活動
地域の水と暮らしの関係についての調査研究活動

活動分野は、環境、まちづくり、芸術、こども、教育、観光、交通、健康、福祉など幅広く想定しています。

助成期間 2006年10月1日~2007年9月30日

助成金額 助成総額約1,500万円、助成件数は10件程度

活動や事業に必要な経費(助成金額の30%までスタッフの person 費を含むことができます)

応募資格 営利を目的としない市民活動団体(法人格の有無や種類を問わない)

応募方法 応募書類に必要事項を記入の上、郵便または宅配便にて送付。応募用紙は、ダウンロードまたは、「郵便番号・住所」「団体名」「担当者名」「電話番号」を明記の上、「応募用紙郵送希望」と書き、「TOTO水環境基金係」宛に、2006年6月9日(金)までにFAXにて申し込み。

応募締め切り2006年6月20日(火)〔当日必着〕 応募書類送付先問合せ先 東陶機器株式会社 総務部 TOTO水環境基金係 担当:清水

〒802-8601 北九州市小倉北区中島 2-1-1

TEL:093-951-2052 FAX:093-951-2718

NHK厚生文化事業団わかば基金

応募締め切り 6月23日必着(郵送)

助成金 1団体上限70万円×15グループ予定

対象 地域で活発な福祉活動をすすめているグループ。

問合せ 平日9:30~18:00

NHK厚生文化事業団

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-4-1 第7共同ビル

電話 03 3476 5955

社会福祉助成金募集要項平成18年度(第32回)

社会福祉法人丸紅基金

1. 助成金額・件数

助成金総額は1億円を目処とし、50件以上の助成を行います。

助成申込金額は限定しませんが、1件当りの助成金額は、原則として、200万円を上限とします。

2. 助成の対象

当基金の助成は、わが国における社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動など)を行う民間の団体が企画する事業案件で、次の条件を具備するものを対象とします。

申込者(実施主体)は、原則として非営利の法人であるこ

と(ただし、法人でない場合でも、3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象とする)。明確な目的を持ち、実施主体、内容、期間が明らかであること。助成決定から1年以内に実施が完了する予定のものであること。一般的な経費不足の補填でないこと。申込案件に、国や地方公共団体の公的補助が見込めないこと、また他の民間機関からの助成と重複しないこと。

3. 選考基準(略)

4. 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、下記の添付書類と共に事務局宛に、ご送付願います。

<添付書類> 定款(任意団体の場合は、規約などの内部規定) 役員名簿(住所、氏名、年令の記載があるもの) 申込団体および申込対象施設の決算書(収支計算書、貸借対照表) 対象事業案件に要する費用の根拠となる書面(見積書、購入商品のパンフレット・カタログの抜粋、写真など) 団体・施設の案内書(最近の刊行物があれば、併せて添付してください) 本部および申込対象施設の所在地地図。なお、申込書など申込関係書類は、HPからダウンロードしてください。ダウンロードができない場合は、ファックス、ハガキ、または、E-メールにて、下記を明記の上、当基金にご請求ください。郵便番号と住所 団体名 担当者名 電話番号 ファックス番号

5. 申込受付締め切り

申込は、平成18年6月30日(金)まで(郵送の場合、6月30日消印のものまで有効)

*問い合わせ・書類の送付先

〒108-0014 東京都港区芝5-20-6

丸紅東京本社 三田別館4階 社会福祉法人 丸紅基金

TEL 03-5446-2474・2475

FAX 03-5446-2476

E-mail mkikin@marubeni.com

ドコモ市民活動団体助成

- よりよい未来のために頑張る仲間を応援します -

1. 助成対象活動テーマ 「子ども育成」
 - (1) 不登校・ひきこもりの子どもや保護者に対する精神的・物理的な支援、復学・社会的自立支援活動(フリースクール・カウンセリングなど)
 - (2) 児童虐待やドメスティック・バイオレンス(DV)、性暴力などの被害児童・生徒を保護・支援する活動
 - (3) 非行、地域犯罪等から子どもを守るための支援活動
 - (4) 子どもの居場所づくり(働く親支援のための安全な保育、子どもの不安や悩みに耳を傾ける相談活動など)
 - (5) 「軽度発達障害」(アスペルガー症候群、LD、ADHDなど)を持つ児童の支援活動
 - (6) 上記(1)から(5)以外で「子どもを守る」という視点に立った活動テーマに相応しい支援活動

2. 助成の金額・件数

総額 2,500万円以内

1件あたり50万円を標準とし、200万円を上限とする。採用基準に満たない活動計画であっても、団体の将来性・可能性などに特に期待が持てる申請については、標準の半額程度を「代替助成」として採用する場合があります。

3. 助成対象団体

- (1) 日本国内に活動拠点を有する民間の非営利活動団体で特定非営利活動法人(NPO)等の法人格を有するもの
- (2) 活動実績が2年以上である団体(NPO等の法人格を有する以前の活動実績を含む)

- (3) 複数のNPOが連携した協働事業で、地域の中間支援組織(各地の「NPOセンター」など活動支援団体)が代表申請団体となる場合は、その協働グループ

申請締め切り 6月30日(金) 必着

【申請書等送付先・問合せ先】 NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド(ドコモMCF)

〒107-0052

東京都港区赤坂2-4-5 国際赤坂ビル19F

TEL:(03)5545-7711

FAX:(03)5545-7722

E-mail:info@mcfund.or.jp

ユニバーサル財団市民活動助成公募

対象団体

高齢者が活動する市民活動団体

高齢者の医療・保健・福祉、まちづくり等、高齢者を対象とする市民活動を行う団体

応募締め切り 2006年7月31日(必着)

助成期間および金額

1年間。原則として1件当たり100万円を限度としますが、助成額については活動内容、及び規模により査定をさせていただきます。

助成金の使途

市民活動、または催し物等の事業に直接要する諸経費

(既に終了した活動・事業については含みません)

より多くの団体に助成金を利用していただくため、過去に当財団の助成を受けられた団体の応募はご遠慮いただいております。

応募方法

当財団所定の申請書に必要事項を記入の上、当財団宛ご送付ください。(紛失等のトラブルを避けるため、なるべく書留や宅配便でお送りください)

なお、ご提出いただいた申請書はご返却いたしかねます。

申請書類送付先

財団法人 ユニバーサル財団

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル5階

Tel/03-3350-9002 Fax/03-3350-9008

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口 晃 (北海学園大学教授)

杉岡 直人 (北星学園大学教授)

杉山さかえ (北海道グリーンファント 理事長)

事務局長 佐藤 隆

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 杉山さかえ 事務局長 小林董信

NPO法人 北海道NPOバンク

理事長 杉岡 直人

NPOバンク事業組合 理事長 高木 晴光

NPO法人 北海道NPO越智基金

代表理事 田口 晃 事務局長 北村美恵子

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目

クワガタビル2F

TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

URL <http://npo-hokkaido.org/>